

マイスターハイスクール普及促進事業

私たちが創る！
産業界と学科連携で広がる
持続可能な食と農

宮崎県立宮崎農業高等学校

事業実践の結果概要(1年目)

<主な実践内容>

- ・産業界との連携
- ・学科間連携

事業実践の結果概要(1年目)

<意識調査で10%以上高まった項目>

- ・地域や産業への関心
- ・専門の職業への理解
- ・自分の進路への関心
- ・資格、検定取得の意欲

宮崎農業高校の学科

生物工学科
(B科)

生産流通科
(D科)

食品工学科
(F科)

環境工学科
(E科)

生活文化科
(L科)



植物バイオ実習



市場見学



生産物販売会



測量実習



製菓講習会



田植え実習



インターンシップ



高大連携（南九大）



現場見学



フラワーアレンジメント
講習会

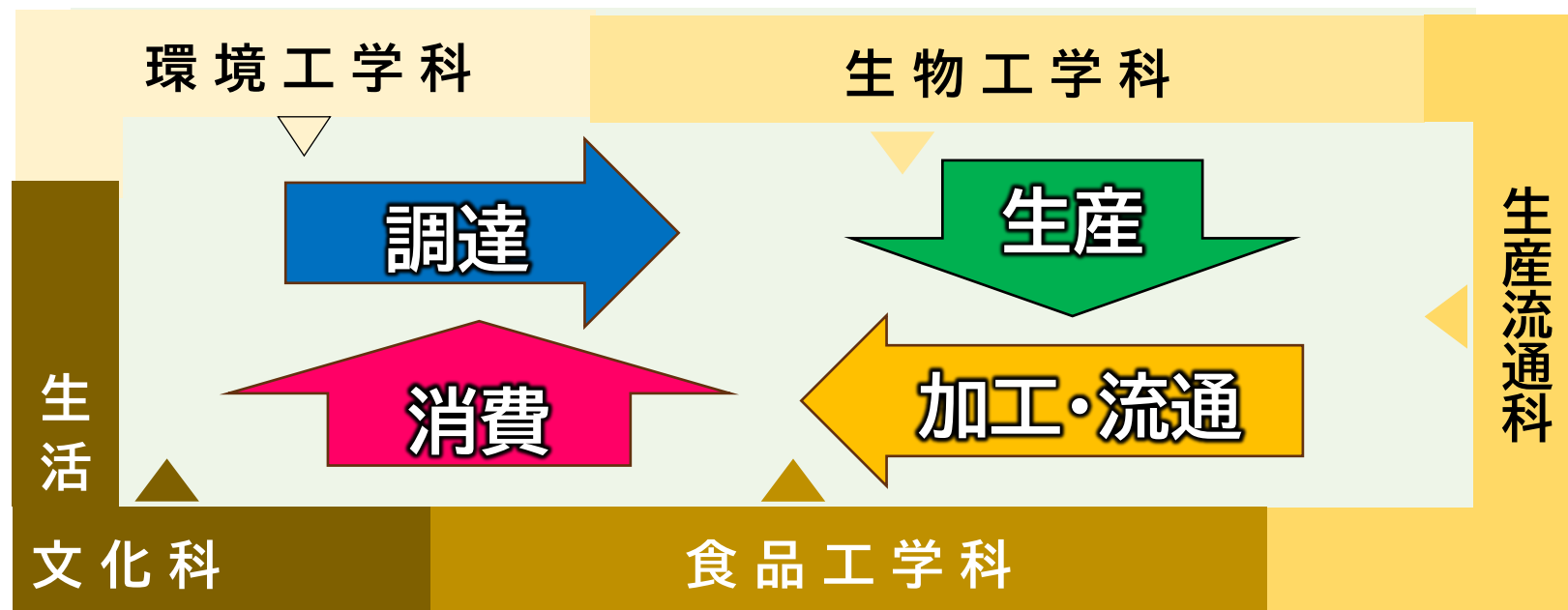
農業に関する学科

家庭に関する学科

私たちの課題観

- 自分事として捉えにくい
- 他の学科が何を学んでいるか知らない
- 海外の持続可能な食と農を学ぶ機会がほとんどない

農水省「みどりの食料システム戦略」を基盤とした学び



持続的な食料システムの確立を目指す！

具体的な取組計画

地域(ローカル)での学び

- ①最新・最先端技術研修
- ②全学科横断・協働型専門学習

海外(グローバル)での学び

- ①海外の農業・食文化に関する学習
- ②海外の学校との国際交流

持続型農業を目指した生物農薬の活用

生物工学科

○天敵生物を活用した防除法の学習

○土着天敵の増殖を目指す取り組み



アザミウマ類やコナジラミ類を捕食するタバコカスミカメ

持続可能な農業を目指した 総合的病害虫管理

生産流通科



イチゴ栽培での天敵利用



ハダニ類を捕食するミヤコカブリダニ

綾町有機農業視察研修

生物工学科
生産流通科

【場所】 綾町有機農業開発センター、
有限会社松井農園 中島農園

【内容】

- 生物農薬を活用した栽培管理
- 天敵昆虫の増殖技術
- 総合的病害虫・雑草管理
(IPM)



有機JAS認証に向けて

生産流通科

- 地域未利用資源の活用
- 化学肥料・化学農薬の低減
- 温暖化・脱炭素等の環境負荷軽減



(株)HIDEJI BEER



焼酎粕による
肥料効果



ビール粕による
中玉トマト栽培



電熱マットによる
地温効果

DX機器を活用した商品開発

食品工学科

○「クーボ」の活用方法

○本校生産物を原料としたジェラート



クーボ



アイスクリーム
フリーザー

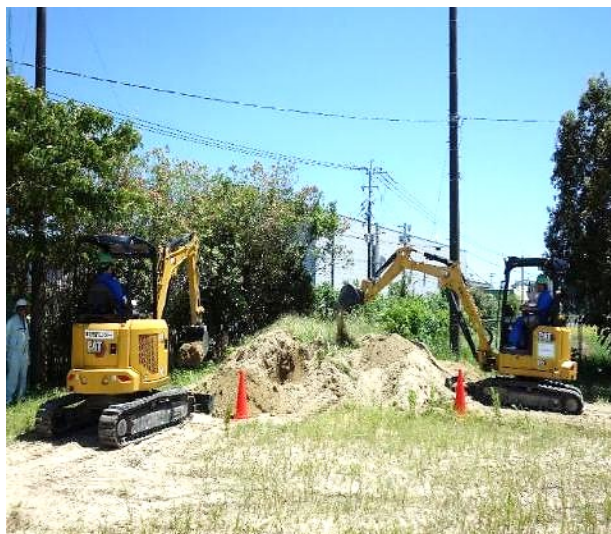
建設機械講習と公共事業見学

環境工学科

【内容】

○建設機械運転業務に関する安全衛生教育

○国・県で行う公共事業の見学・体験



企業視察 (株)菅公学生服 (株)霧島酒造

生活文化科

【内容】

○ファッションに関する企業見学

○食に関する企業見学



農場測量実習

2学科間連携(生産流通科・環境工学科)

生産流通科が環境工学科から測量について学ぶ

【目的】

○測量に関する理解

○圃場の面積や形状等を正確に測る技術の体験



栽培・収穫実習

2学科間連携
(生産流通科・食品工学科)

食品工学科が生産流通科からカボチャの栽培やイチゴの収穫を学ぶ

【目的】

○栽培から食品加工までの過程、
生産から加工、消費に至る過程を学ぶ



衣類の堆肥化

2学科間連携

(生産流通科・生活文化科)

生活文化科が生産流通科から、堆肥づくりを学ぶ

- 【目的】
- 環境負荷の少ない衣生活の実践
 - 堆肥にする方法の理解と演習



地域貢献意識を育むプロジェクトの導入 「防災かまどベンチ製作 および 火入れ式」

【目的】 ○地域貢献意識の育成

全学科(5学科)連携

○専門性の活用と防災や共生の思考

○学科間の協力と異世代交流

【参加者】

赤江地域まちづくり推進委員会、宮崎県建築士会、
近隣自治会の方々、
放課後等デイサービス
大地、宮崎農業高校生
延べ約180名



防災かまどベンチ製作【基礎】



レンガと
耐火コン
クリート
で積み上
げる



柿渋で塗装



産業界との連携

学科間連携

学科横断型学習プログラム

海外連携

防災かまどベンチ製作 完成！！



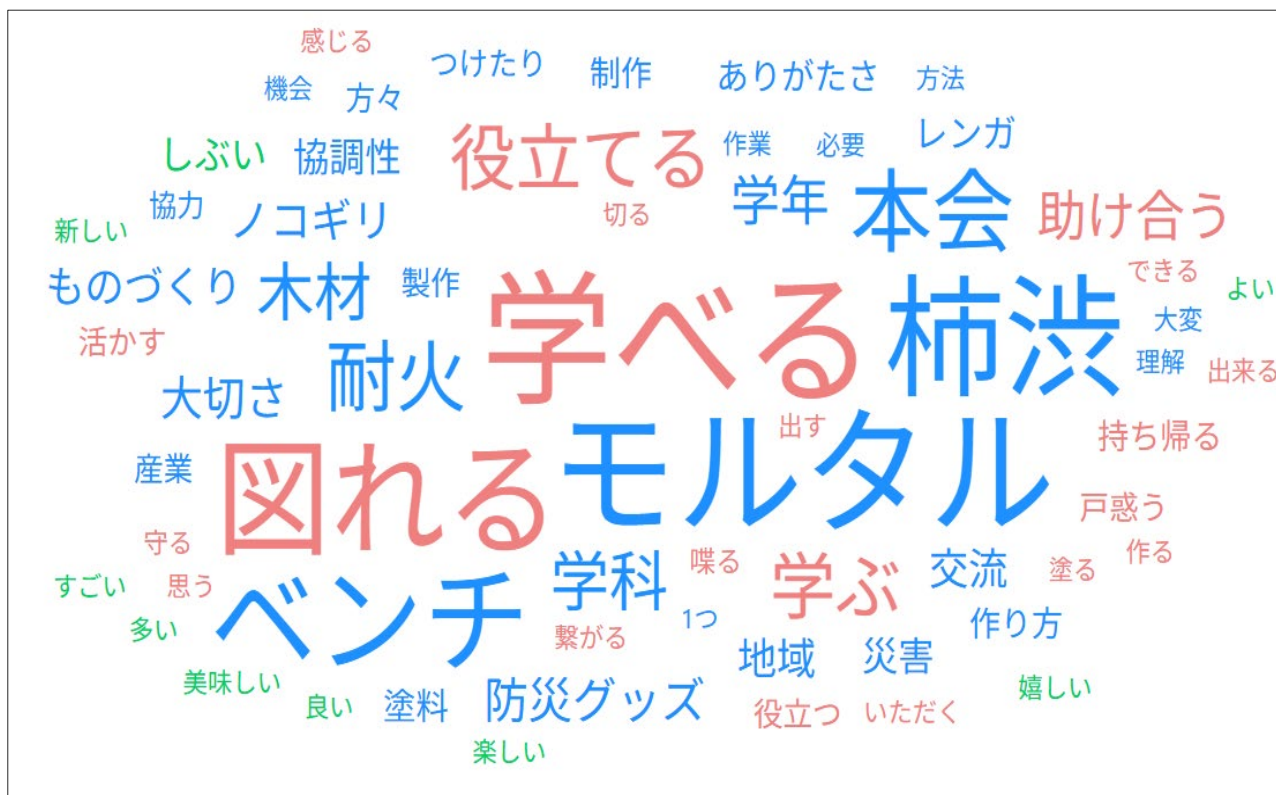
防災食【調理】



「うどん」と「オムレツ」
お湯ポチャ料理のポイントは空気を抜く



防災かまどベンチ製作【 アンケート結果 】



<分析結果>

1. 製作体験の重要性

3. 技術的な学び

2.地域とのつながり

4.防災意識の向上

人材育成講演会

4学科間連携

(生物工学科・生産流通科・食品工学科・環境工学科)

【講演者】	児玉 光世	生物工学科卒	宮崎市バラ農家
	野崎 一将	生物工学科卒	宮崎市ゴーヤ農家
	蛸原 絵里	生活文化科卒	県立農業大学校 畜産学科
	矢野 和久	園芸科卒	宮崎市ミニトマト農家
	吉田 隆	園芸科卒	宮崎県教育研修センター

「講演とパネルディスカッション形式」

- ・農業の魅力
- ・農業経営
- ・これからの目標
- ・失敗したこと
- ・大切にしていること



キャリア教育講演会

全学科(5学科)連携

【目的】 ○持続的な食料システムを担う次世代リーダー育成
○資質能力の養成と進路目標の実現

【対象】 全校生徒1・2年、教職員

【講演題目】

「自己肯定感を高める方法」

【講師】

千葉県船橋市学校法人三橋学園

夏見台幼保園 鳥居徹也氏



産業界との連携

学科間連携

学科横断型学習プログラム

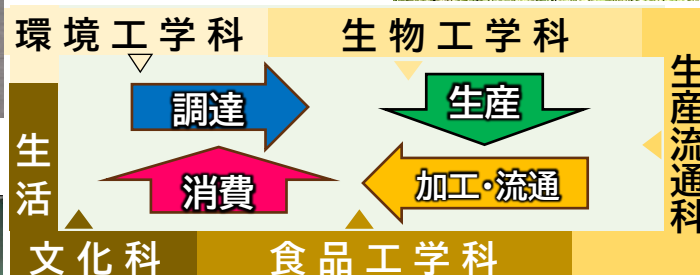
海外連携



学科の特色を学ぶ授業実習

「総探」の活用

- 【目的】
- 所属学科と他学科との関係性の理解
 - 産業社会の成り立ちを俯瞰して見る視点の育成
 - 学習意欲の向上



他学科での学び

【環境工学科：測量】



【生物工学科：茎頂観察】



【生産流通科：果樹について】



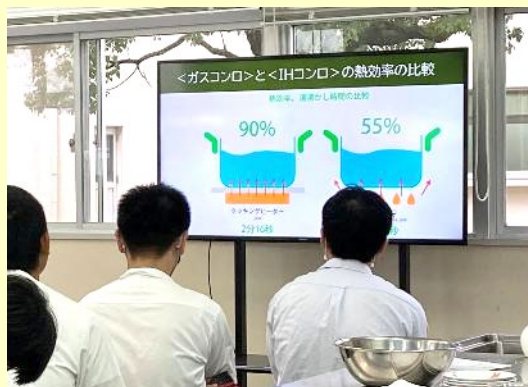
調達

生産

消費

加工・流通

【生活文化科：節電・節水調理】



【食品工学科：製麺実習】



海外視察研修 「オランダ王国」

2025.11.30～12.05



ワールドホーティセンター



トマトワールド



チーズ工房



キンデルダイク風車群



産業界との連携

学科間連携

学科横断型学習プログラム

海外連携

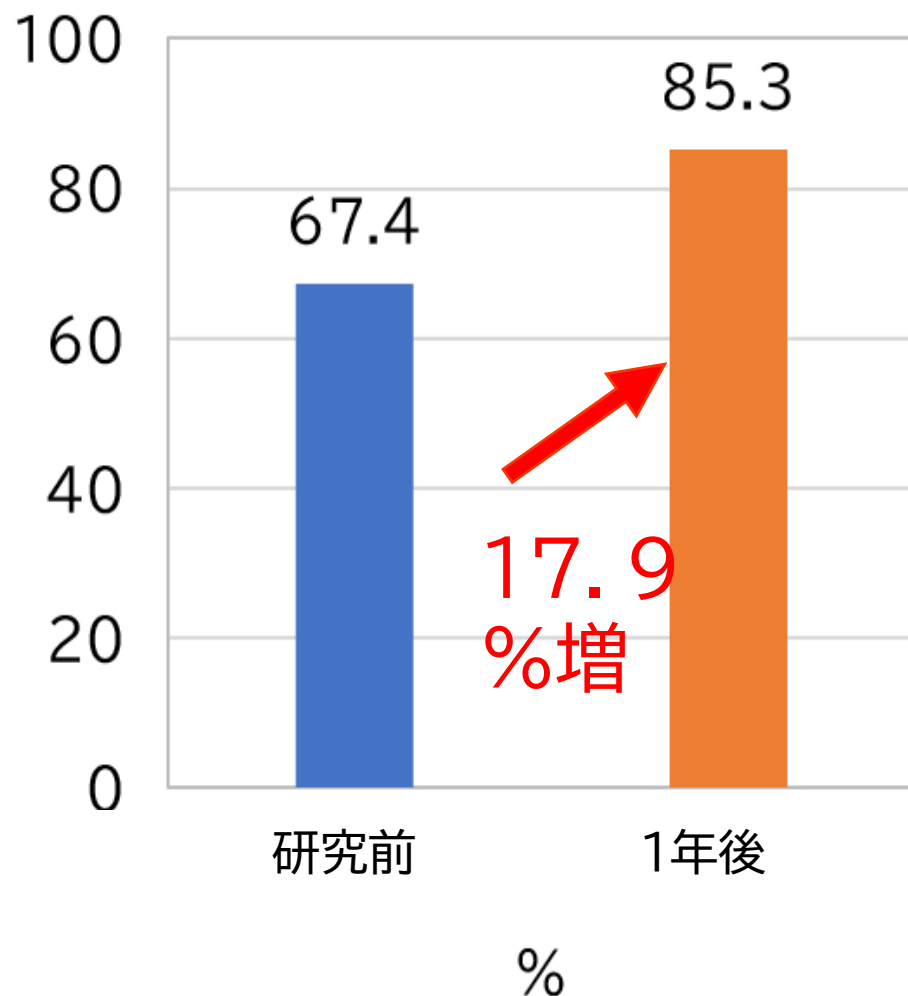
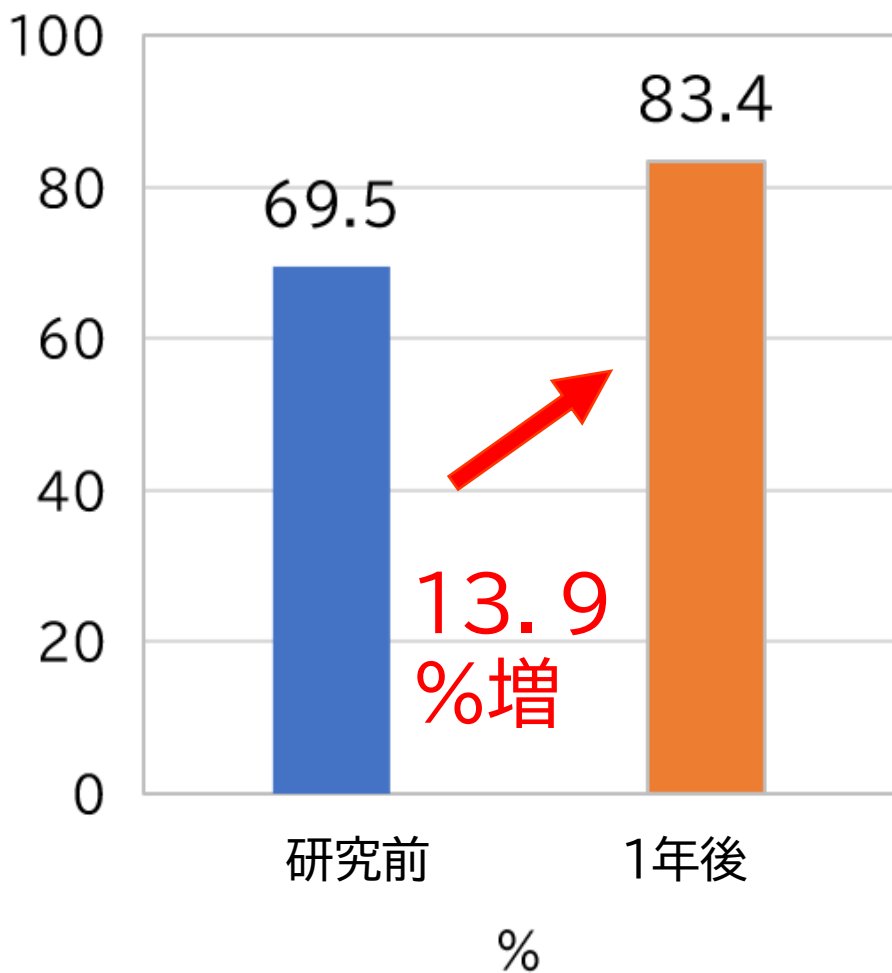


令和7年11月30日～12月5日
2年生4名 海外視察研修

中間評価 ～研究前と1年後の比較～

講習会による
専門職業への理解度

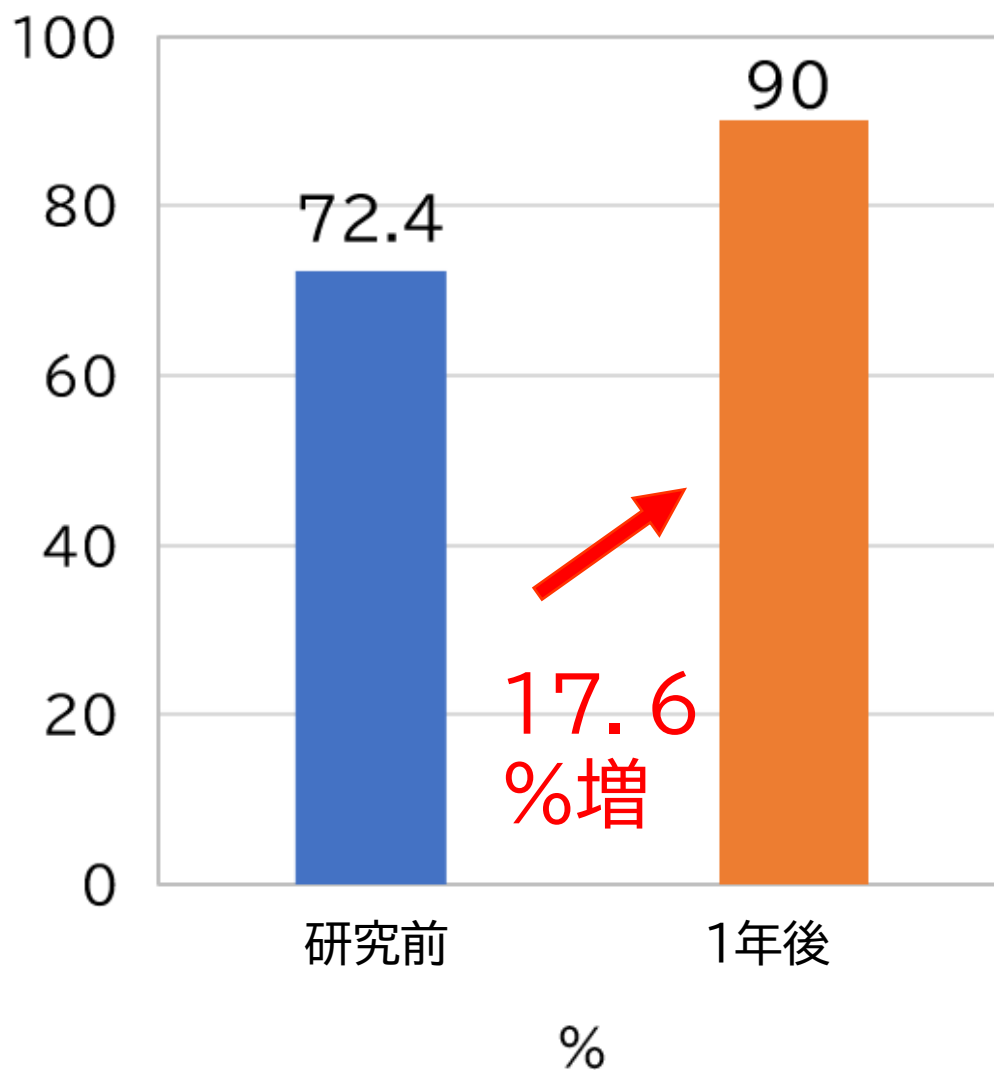
講習会による
進路意識の向上



中間評価

～研究前と1年後の比較～

資格検定への取り組み



今後の展望

- 農業生産技術や加工技術、商品開発に関するプロジェクト学習を深める
- 産業界との連携、学科横断型学習等を通して進路実現につなげる
- 海外研修を経て、農業先進国との国際交流を継続し、農業高校の生産物を海外に進出させたい